

開催報告「2023年度 学生のための地質系業界説明会」
～その業界の仕事を知るためのサポートサービス～

地質系業界説明会は、学部生や院生（以下、学生）、関係する教員に、将来の就職先の一つである地質系業界の実態や各社の業務内容などを知っていただくものであり、当学会の地質技術者教育委員会が中心となって開催した。この説明会に参加された企業・団体（以下、会社）の紹介資料を学会HPに掲載し、それを参考にして学生には、開催が異なる日時の対面説明会とオンライン説明会において希望の会社を訪問するというものであった。

(1) 参加した会社

参加会社は47社でこのうち22社が学会の賛助会員であり、この説明会を契機に4社が新たに賛助会員になってくださった。47社のうち32社が対面説明会に、35社がオンライン説明会にそれぞれ参加し、1社が学会HPへの資料掲示であった。昨年に比べ、参加が12社、対面が9社、オンラインが3社、それぞれ増えた。

参加会社は以下のとおり（50音順、※は対面・オンライン説明会参加、○は対面説明会のみ参加、◇はオンライン説明会のみ参加、△は資料掲示のみ）。

(株)アーステック東洋○、(株)アサノ大成基礎エンジニアリング◇、(株)INPEX※、(株)エイト日本技術開発○、応用地質(株)※、川崎地質(株)※、基礎地盤コンサルタント(株)※、キタイ設計(株)○、クニミネ工業(株)◇、原子力発電環境整備機構※、(株)建設技術研究所※、(株)鉱研工業(株)※、国際航業(株)◇、国土防災技術(株)○、(株)サクセン※、サンコーコンサルタント(株)○、三洋テクノマリン(株)○、三和ボーリング(株)※、四国建設コンサルタント(株)※、新協地水(株)△、シンワ技研コンサルタント◇、住鉱資源開発(株)◇、住友大阪セメント(株)◇、住友金属鉱山(株)◇、石油資源開発(株)※、大日本ダイヤコンサルタント(株)※、太平洋セメント(株)※、(株)高田地研◇、(株)地圏総合コンサルタント※、地熱エンジニアリング(株)※、中央開発(株)※、(株)ドーコン◇、トキワ地研(株)◇、(株)日さく※、日鉄鉱業(株)※、日特建設(株)※、(株)日本海技術コンサルタント○、日本海洋事業(株)◇、日本工営(株)○、(株)ニュージェック◇、ハイテック(株)※、(株)パスコ※、(株)阪神コンサルタント○、(株)蒜山地質年代学研究所○、(株)芙蓉コンサルタント◇、明治コンサルタント(株)※、山北調査設計(株)◇

(2) 対面説明会

- ①開催日時：2023年9月18日（月）13：00～17：00
- ②開催場所：京都大学吉田キャンパス（京都市左京区吉田本町）の吉田南総合館1階の共北11・12講義室および共東12講義室
- ③参加費：無料（学生は、日本地質学会会員、非会員を問わず学術大会への参加登録は不要で参加費は無料。ただし、その場合は学術大会の他の企画には参加できない。）
- ④参加会社：32社（2022年度23社）
- ⑤参加学生：27大学、78名、延べ訪問数216、学生1名当たり2.8社訪問、会社1社当たり6.8名訪問（2022年度：20大学、54名、延べ訪問数202、学生1名当たり3.7社訪問、会社1社当たり8.4名訪問）。

※訪問時間が2022年度より1時間短いため学生1名当たりの訪問数が少なく、あわせて参加会社数が多くなったので会社1社当たりの訪問数が少なくなった。

(3) オンライン説明会

- ①開催日時：2023年9月22日（金）13：00～17：40
- ②開催方法：Zoomを用いたオンライン方式
- ③参加費：無料（学生は、日本地質学会会員、非会員を問わない）
- ④参加会社：35社（2022年度32社）
- ⑤参加学生：15大学、26名、延べ訪問数109、学生1名当たり4.2社訪問、会社1社当たり3.1名訪問（2022年度：16大学、41名、延べ訪問数198、学生1名当たり4.8社訪問、会社1社当たり6.4名訪問）

※訪問時間が2022年度より1時間20分短いため学生1名当たりの訪問数がやや少なく、あわせて参加会社数が少し増え学生数が大きく減少したので、会社1社当たりの訪問数が少なくなった。

(4) 参加状況

対面説明会の会場が大会受付の渡り廊下向いという好条件であったため、当日参加が12大学、57名もあり、2022年度を上回る盛況となった。地質調査系、建設コンサルタント系、資源系、測量系、建設系などの幅広い分野について、全国展開型や地域密着型の会社など様々な会社があって、参加した学生には豊富な情報源になったものと考えられる。一方、スペースの関係などで3名までとした説明員数を上回る会社があったことや、学生へのブースへの勧誘を個別に行う会社があったことは、今後の運営課題である。

オンライン説明会は、2022年度同様学術大会期間と重ならないように開催した。2022年度と比べると、参加会社が3社増えたにもかかわらず、学生数は37%、延べ訪問数は45%といずれも大きく減少した。会社にとっては学術大会開催地に社員を派遣しなくても会社説明ができることから増えたものと思われるが、学生の参加状況が昨年度を大きく下回ったことから、広報のやり方などについてさらなる工夫が必要である。

(5) アンケート結果

アンケートは対面説明会とオンライン説明会に参加した会社と対面説明会に参加した学生に対して、それぞれ行った。結果のグラフは紙面の関係で別のページに掲載する。

①参加会社

対面説明会では時間設定、会場の広さ、対応人数などについては概ね好評だった。オンライン説明会では参加学生数や1コマ35分の長さは概ね好評だったが、開催時間（13:00～17:40）が長いという指摘があった。1コマ35分とすると開催時間では8コマとなり、1人の学生が訪問できる会社数の上限に当たる。企画段階で短くしようとしたが、参加会社が31社と多くなったので学生にできるだけ多くの会社を訪問してもらいたいために上記の時間となった。昨年より時間を短くしたが、参加学生が少なかったため企業担当者が長く感じた可能性がある。

2つの説明会を通して、参加費用は適切であり、来年も参加したい、とくに対面説明会とオンライン説明会の両方に参加したいという評価であったので、来年も同様の企画を開催したい。

②対面説明会への参加学生

回答率が3割程度と低い、満足度は高く、会社から必要な情報を入手することができたという回答には企画側としては大いに喜んでおり、企画してよかったと考えている。一方で、学